



春夏秋冬

『苦労様』

「一回、二回、十七回、十八回」。番町皿屋敷は「一枚、二枚、三枚だけ」。

これは私が昭和36年に早川電機工業(当時)に入社し、平成10年にシャープを定年退職するまでに、公私双方の理由で住居の引越しをした回数です。

私は東京支店で当時の太田支店長、若狭谷主任にお世話になり入社試験を受けました。

そもそも引越しの始まりは、採用通知書に添付されていた「寮は満室のため、個人で住居を探されたく」の一文でした。

私には、大阪在住の知人はおるか、その時まで大阪に行ったことも無かったです。

そのため、会社の状況は全く理解できず、会社からの通知は、まるまる信じるより仕方ありませんでした。

これは私に不安と困惑をもたらす以外の何物でもありませんでした。(パニックです)

幸い近所に住んでいた、小学校の同級生の伯父さんが松原市布忍に在住されており、私が住まいを探すまでの条件付で、下宿させてもらうことになり、一安心しました。

赴任の時、大阪駅で地下鉄に乗り天王寺で降り、近鉄南大阪線で布忍に行きました。

当時の天王寺駅周辺はなんとなく寂しく、また、心斎橋や難波等大阪の繁華街は知る由もなく、着いた布忍は家はバラバラ、畑や池や野原が目立ち、春とはいえ夕方の肌寒さに、えらい所に来てしまった、と物悲しい思いで一

シャープ社友会
広島支部会報
ひびき 第26号

1面	春夏秋冬
2面	祝辞
3面	定期総会議案案内
4~5面	セミナー&新年会報告
6~8面	HOW DO YOU DO
9面	春の旅行ガイド

代表幹事 相馬 實

杯でした。(第一回目の引越しです)

ともあれ、入社式を終え田辺工場の四階にある、ステレオ関係の技術部門に配属され、そこで同期入社の方と出会いました。

私の事情を知ったY氏(ご一家のご好意により、Y氏宅に下宿させてもらう事になり、大阪に来て二週間で早くも二回目の引越しをしました。この時は未だ、今後我が身に起こる運命を、夢にも思いませんでした。

勤務地は、大阪阿倍野(田辺工場)本社ビルを振り出しに、大阪平野↓栃木↓広島↓マレーシア↓広島↓奈良↓広島(定年退職)と、社命による転勤でやむなく転居したの

に加え、個人の都合・希望での転居を合わせると合計十八回あった訳です。

また、勤務地の移動に伴い当然 居室(仕事場)も変わった訳ですが、これは転勤だけでなく同一勤務地内での居室移動、更に所属移動もあり、この移動を数えてみると記

憶に残っているだけで20回はありました。営業関係の人は別として、事業所勤務の者としては大変多い部類ではないでしょうか。

住居及び居室の移動回数を合わせてみると、シャープ在籍中は引越しに始まり、引越しに終わった感があります。転勤・引越し先でそれぞれ思い出もありますが、まず栃木に転勤の時は長男が生まれる前で、お腹の大きな家内との引越しは大変でした。

次に、広島転勤後、技術部門がワンフロアーに集結となったとき、何故か私が引越し準備委員長(?)を拝命し、全部門の備品の種類・員数・寸法を調査し、発泡スチロールに乗せたフロアー図面に、縮尺で切った備品の紙を押しピンで突き刺すパズルで遊んだ(?)のも、今となれば懐かしい思い出です。

海外勤務の誘いは、「平野でSEC」(栃木でフイリピン)がありましたが、いずれも断わって来ました。しかし、広島転勤後のマレーシア出向はついに受けざるを得ない羽目になりました。

それまでプライベートでも海外に出たことはなく、ましてや仕事となると、より一層の不安に襲われたのは仕方ない事と思います。

その他あれやこれやの思い出もありますが、国内外の数多い引越しに対し、ほんとうに自分自身に対して「ご苦労様」と言つてあげたい気持ちです。

転勤で住む土地が変わった場合、一番心配なのは、家族がその土地に馴染んで貰えるかどうかです。

幸い家内は行く先々で友人を作り、私がか会社へ行ってある間も家に閉じこもることなく、自分なりの過ごし方をして貰えたのは大変ありがたいことでした。

子供も転勤先で生まれ育つたこともあり、行く先々での問題もなく成長してくれました。

しかも、その地を離れた後も長年にわたり、交友が続いている人達もあり、特にマレーシア赴任中知り合った人(日本人学校関係者)とは、子供も含め今でも交流があるのは驚くべきことだと思います。

最後に一言、シャープさん私達家族に各地の観光をさせてくれ有難う!

社友会広島支部結成十周年への祝辞



通信システム事業本部

総務部長 庄野 敬三

の時期を迎えるの感があります。

竹の節は節目節目から新しい枝を出していくことはご存知の通りですが、社友会に於かれましても、創立十周年の節目として、また新しい立派な芽を出されることをご期待申し上げます。

最後に社友会広島支部のますますのご発展と諸先輩皆様のご健康とご多幸をお祈りしまして祝辞とさせていただきます。

月に九州支部として独立するに至るなど、今や会員一四名の確固たる支部として安定軌道に乗り、更なる飛躍

シャープ社友会広島支部結成十周年にあたって

シャープ労働組合広島支部

執行委員長 影井 貢



モノづくりの西の拠点 シャープ広島事業所を中心に柔軟性と果敢さを秘め事業拡大に多大の足跡・功績を残された諸先輩の総力が社友会広島支部の活動に引き継がれているように思えてなりません。

シャープ社友会広島支部の結成十周年を心からお祝い申し上げます。広島事業所の発展と共に、歩んでこられた社友会会員の皆さんに敬意を表すると共に、ご指導に対し御礼を申し上げます。

一九六七年(昭和42年)に広島事業所が操業して今年で36年になります。この間先輩の皆様には、スーパー円高・オイルショック・貿易摩擦など幾多の苦難を乗り越え、今日の基礎を築き上

げます。現在の広島事業所は、労使協調のもっと全社でも優良な事業所となり経営に大きく寄与する事が出来ています。改めて緒先輩のご努力に感謝申し上げます。

高齡化社会の到来と共に、社友会組織の拡大は勿論、果たすべき役割は今

中国・四国及び九州在住会員の編入や、他に例を見ない定時準社員の方の親睦組織「紅葉会」との連帯など、広島支部ならではの豊かな発想と会員相互のご尽力の結果、多くの同好会が誕生し親睦旅行や支部会報の充実として実り、一方その九州分会が昨年4

広島支部結成10周年記念 平成15年度定期総会

日時	平成15年5月16日(金)
場所	ラポール広島 大ホール
開会	午前11時
閉会	午後2時(予定)
駐車場	第3工場指定区画(係員誘導)

開催案内 4月7日 送配布開始

後ますます増大されて来ると思いますが、今後も、それぞれの活動のより一層の充実と、現役に対しての良きアドバイスを戴きますようお願い致します。最後に、シャープ社友会広島支部の益々の発展と、皆様のご健勝を祈念しお祝いのご挨拶と致します。

結成十周年記念 第10回定期総会 紅葉会 第九回総会

5月16日(金) ラポール広島

予定の議案を、概要としてご案内します。項目としては例年と変わるところは少ないものの、重要にして会員諸兄に直接に関係する事項もあり、関心の深い内容を選んで紹介します。

◆定期総会次第

開会挨拶
広島支部長挨拶
ご来賓挨拶

審議・報告

平成15年度「本部定期総会」報告
平成14年度事業・行事報告
平成15年度事業・行事計画
平成14年度会計決算報告
平成14年度会計監査報告
平成15年度運営予算
支部規約改定
平成14年度同好会活動報告
役員交代報告
質疑・会員提案事項
閉会挨拶

◆出席者記念撮影

◆合同懇親会
◆新入会員紹介
◆新旧役員挨拶
◆古稀・喜寿お祝いの紹介
◆秋季親睦旅行の提案
◆散会

■総会のご案内は、本紙と同時に回

昨年の第九回定期総会での吉岡副支部長



付される予定ですが、出欠のご連絡は5月9日必着です。
なお、ご出席の場合は当日受付で年会費及び懇親会費を納入願います

■駐車場は第3工場の、指定駐車区画になります。係員の誘導に従ってください。
■開会は午前11時です。少し、早めに入場ください。

□ 提案・報告の概要

役員の交代
今回2名が退任し、新たに2名を新任。幹事としての担当区分は異動を予定。幹事増員は次年度に予定。

□事業・行事計画
定例化行事は継続。秋季親睦旅行は骨子を懇親会で提案。会員提案も含め、ご意見を伺います。
新春に行ったセミナーはご好評であったことから、今後は定例化し新年会と、セットでの実施も視野に都度テーマを定め実施することとします。

会報「ひびき」は季刊とし、年4回の発行を継続します。
なお第25号から、従来の8頁より増頁していますが当面、その12頁体制で運用します。

□規約の改定
例年体系や文言を含め整備を行っていますが、今年も整備を重点に改定を行います。
なお、会員自身の計報回付を目的に使用はされたことがなく、その点では幸いではありますが、「緊急連絡体制」を、緊急時により機能するよう見直します。

また、会員本人及び会員配偶者の「死亡報告書」の様式を一部変更します。

□同好会活動の活性化
会員数の増大と共に、新たな同好会の発足や、活動の強化も促進します。

趣味の広がり、価値観の多様など一様でないのが現在ですが、同好会の範囲で、推進リーダー会議を通じて、積極的に活動を支援するとともに、新同好会の開設についてもバックアップを行います。

□会社との懇談会
原則として7月実施で計画します。意見交換を含め、概要は会報でお知らせします。



初めてのセミナーと新年会 関心高く80名超の参加者

社友会広島支部では平成15年1月17日（金）ラポール広島において、セミナーと賀詞交換会を開催致しました。
セミナーは初の試みで、関心はあるが分かり難い「厚生年金の代行部分返上」と「健康保険法の改正内容」の二つのテーマについて本社よりそれぞれご担当の講師をお招きして、お話し頂きました。

「厚生年金の代行部分返上」について

講師 シヤープ厚生年金基金

丹羽常務理事

冒頭、「代行返上により、我々の年金がどう変わるか、関心事かと思えますが基本的に受取総額は変わらないと言うのが結論です。」で一同安堵。代行返上を理解するには、先ず、我が国の年金制度の基本を知る必要があるとして、資料を基に説明されました、主な項目は次の通り。

一 日本の年金制度の概要について
二 厚生年金と厚生年金基金との関係

三 掛金（保険料）
四 運用と給付の関係

更に、年金制度に関連した「変わる企業年金」「年金制度の比較」「同業他社の制度」「運用状況などの推移」について説明されました。

なお、マスコミなどで「年金制度は支払った保険料より、将来受取る年金が少なくなるので損だ。」との報道もあるが、正確には本人の保険料

は会社との折半で、半分しか支払っていない点を、ご理解頂きたい。」と。年金制度の仕組みは難しいが、今回のセミナーでは内容が図や表に整理されて、講師の説明と共に出席者の理解を深めたと思われれます。



「健康保険法の改正内容」について

講師 シヤープ健康保険組合

鶴野係長

昨年10月法改正があり、「特例退職被保険者制度」加入が74才迄に。

但し、10月以前に70才になった方は旧法適用の老人医療に加入し、「特例退職被保険者制度」への再加入は出来ません。

シヤープ健康保険組合は「退職者医療制度」のため「特定健康保険組合」の国の認可を受け「特例退職被保険者制度」を実施。今後74才まで「特例退職被保険者制度」に入れるのは、平成14年10月以降70才になる方です。

平成14年10月改定された主な内容は

* 高額療養費制度の自己負担限度額が引き上げられましたが、シヤープ健康保険組合では、独自の優遇策を設けているため、この法改正による影響は受けません。

* 70歳以上の高齢者の自己負担が変わります。医療費の自己負担が定率1割に。

* 平成14年10月以降70才になる高齢者には、健康保険組合より「健康保険高給受給者証」が交付されるので「健康保険証」と共に受診窓口へ提出します。

* 所得に応じた「自己負担限度額」の設定。

老人保険で医療を受ける方の対象年齢が、70才から75才に5年間引き

上げ。

平成14年10月以降に70才になる方は、74才までシヤープ健康保険組合に加入。75才から老人保険で医療を受けられます。

平成15年4月からの改定では、患者の自己負担割合は通院・入院とも被扶養者と同じ一律3割に。制度による差はなく、負担割合は年令で分かれます。

* 外来の薬の一部負担廃止。

* 退職後の「継続療養の給付制度」の廃止。退職後の「任意被保険者制度」は2年間が限度

* 総報酬制度導入による保険料率の見直し。特例退職被保険者からもボーナス見合い分を徴収。

* 介護保険も同様に総報酬制になり、保険料率が見直される。

「特例退職被保険者制度」加入の損得については、附加給付の点でのメリットが大。人間ドック費用補助、在職時の給付サービスが受けられる。

保養センターが利用出来る。健康保険料は加入本人の支払いのみで被扶養者も含まれる。

介護保険料は、一般より月額が安く、奥さんの分も含まれる。

従って、特例退職被保険者制度は一般の保険に比べて決して高くないと思えます。

「最後が健康保険料値上げの話になりましたが、保険制度がパンク寸前と言うことで、国の方も苦肉の策であることをご理解頂きたい。」と結んで終わりました。



続いて、参加者全員の記念撮影を行い、恒例新年会を開きました。
 「会」の詳細は省略しますが和気藹々・風発談論・羽化登仙意気投合・破顔一笑・抱腹絶倒まさしく老氣横秋。
 その雰囲気の一部を写真で紹介します。



ボウリング

労組広島支部のボウリング大会

『社友会A』が団体戦で優勝

去る1月18日。シャープ労組広島支部主催の『新春ボウリング大会』に社友会Aチームとして細井・藤田・土屋・坂田の四氏が参加。

当大会の参加者数は30チーム(120名)で、20才から64才(細井氏)までの老若男女が技を競い合い、個人戦では細井氏が三位入賞、団体戦では他チームを寄せ付けずダントツのスコアで見事優勝。OBの力まだまだ衰えずを見せつけました。



大会参加の皆さん(上)と表彰を受ける吉岡(ボウリング同好会推進リーダー)さん(下)

一方、当同好会主催の『第19回新春ボウリング大会』は、25人(社友会18名・紅葉会3名・会員夫人4名)の参加を得て1月25日賀茂ボールにて開催。今回の初参加者は社友会新人の勝山さん。

各レーンで熱戦が繰り広げられ、第1ゲームが終了した時点では、初参加の勝山さんが218点で一位、続いて二位に吉岡さん(210点)、三位野尻さん(204点)で以下、牛田さん。

各レーンで熱戦が繰り広げられ、第1ゲームが終了した時点では、初参加の勝山さんが218点で一位、続いて二位に吉岡さん(210点)、三位野尻さん(204点)で以下、牛田さん。

あるこう会

西国街道の「飢え坂」を

ご存知ですか

今月は、昔旅人が苦労をした場所が身近な処に有ったので歩いて見ましたのでお知らせします。

東広島には十年余り久し振りの大雪が一月末に降りましたが、その三日後に定例会で歩きました。

処の呼称は「飢え坂」と言います、今は開発されて仕舞って昔の様子を偲ぶ縁が有りませんが、昔は可也の峠であった由。喘ぎながら登って来た空き腹の旅人に、土地の人々が食事などを与えた処と説明板に有ります。

現場は、シャープ第3工場正門の向い側の山中ですが、正門から二百米程しか離れてない所です。

正岡さん(紅葉会)・相馬夫人が続き、六位までが180点以上のハイレベルの戦いで、優勝の行方は第2ゲームに持ち越されました。第2ゲームでは勝山さんが調子を落として三位に後退し、調子を維持した吉岡さん、野尻さんが優勝と準優勝に輝きました。今大会の平均スコアは、154点で、前大会の150点に比べ4ポイントを上回るハイレベルな大会になりました。

【入賞者の顔ぶれ】
優勝 吉岡 秀卓(社友会) 386点
準優勝 野尻 昭男(社友会) 383点



近隣に居住される人々も意外にご存知でない方も多い事も、今回のウォーキングで知りました。

第三位 勝山 敏治(社友会) 360点
第四位 正岡多美恵(紅葉会) 355点
第五位 牛田 晴雄(社友会) 355点
第六位 大島ゆり子(紅葉会) 345点
HG賞 勝山 敏治(男 性) 218点
坂本美恵子(女 性) 188点
〔注〕得点はハンディキャップを含む
次回の第20回大会は、5月18日(土)に開催。初参加者にも優勝のチャンスが大いにあります。多くの方々の参加を、お待ちしております。

囲碁・将棋

昨年11月本同好会を再スタートして早いものでこの4月で半年をむかえます。

この間、7名でスタートしたメンバーも今では11人となり、毎月の定例活動日は碁盤二組、将棋二組共フル回転しています。

但し、囲碁、将棋共卓越した実力者は見当たらず、昔やった事があると云う程度の者が集まり、時には色んな情報交換をしながら楽しんでいきます。

特に囲碁については経験者が少なく、今から覚えてみようかと云うメンバーも交えて学びながらやっていますので自信のある方もそうでない方も奮ってご参加下さい。楽しいですよ。

活動は毎月、第一月曜日十時半から社友会室で行っています。

釣り

2月は悪天候で中止

いまや高級魚の「メバル」狙いで

1月23日(木) 中潮 曇り

今月も鹿島の小平さんです。メバル本番です。小平さんのメバルポイントはサイズより数です。

中島、情島、大島の東端、がポイントで今日は情島へ行きました。

6時に港を出てから、約1時間でポイントに着きました。日の出前ですが今日は曇りなので、まだ薄暗い感じ

です。釣開始。全員(今日は今までで一番多い9人です)に緊張が走ります。

今日一番は誰か。心地良い緊張感です。まもなく、釣れた!釣れた!の歓声。一番大きい声は、原田さん、楽しい一日のスタートです。

今月の初参加は、吉田寛さんと田村寿英さんです。

二人とも在職中は、ちぬ釣(だんご)で有名な人物です。ホームグラウンド



写真 上から吉田さん・田村さん・原田さん。吉田さんと、田村さんは外道の「アジ」をWでゲット。原田さんは「メバル」です。

は、三高の赤灯台波止場、夏は毎週通いでした。

本日の釣果は、一人あたりメバルの25センチ級が5匹、以下が30匹ぐらいでした。まあまあ釣果でした。

お土産はコウイカ、カレイ、太刀魚でクララ満タンの楽しい一日でした。

2月の釣行は天気悪く中止になりました。

3月25日(火)小潮 晴れ時々曇り

今日は過去最多の参加者です。計10人、山口春香さんが来る予定でしたが、風邪で体調が悪く不参加。本当は11人の参加でした。

7時にポイントに到着。1月と同じ情島です。

対象魚はメバル。今の季節はメバルしか釣れません。たまにアジ、サバ、鯛が釣れますが外道です。したがいかブラ仕掛けのメバル釣りです。

釣り始めて30分。今日は食いが悪くなかなか釣れません。条件の良い日は釣れないと云いますが、本当に今一つです。それでも釣

グラウンドゴルフ

年間トータルで30回の活動をしました。年明けからは5回しかできていません。それもグラウンドゴルフで運不運が激しく、スコアーを記録する状態ではありませんでした。やっと春がきて、身も心もほぐれ、グラウンドゴルフも本格シーズンを迎えます。既に報告したことですがホールポストもフル装備で、おもいっきりプレー出来ます。

念願の外部でのプレーも実施に向けて、一歩一歩前進したいと思えます。時間がとれる方は、金曜日の10時から第三工場で開催していただきますから覗きにきて下さい。



果は一人20匹ぐらいで、まあまあ釣果でした。

パソコン

相互に情報交換でパソコンライフを豊かに



昨年12月の例会

1月・5月などの祝日と重なるときを除き、例月第1水曜日が『例会日』です。

1月から始まった初心者コース(双葉会)は午前10時から、一般例会は午後1時から行います。もちろん、双方に出席もOKです。

双葉会では、社友会東京支部HPで公開されているテキストを、使用させて頂いていきます。この場を借りて御礼申し上げます。

知識も情報であり、その情報を交換し合って、「パソコンライフを豊かに」が、同好会の目標です。

平成14年度最終戦

井上さん-4で見事な優勝

1〜2月の自主トレ期間を終え、今年の第1戦（平成14年度最終戦）を3月19日に、賀茂CCで行いました。参加の皆さんはそれぞれ、感慨や思惑を抱いて参加されたようです。

結果は、アンダーパーの好成績で井上さんが、初優勝。データを調べると、昨年来当コンペには参加少なく、他所で練習を続けていたのか、見事最終戦で成果を披露頂きました。

今年度9名の、新会員を迎え発足7年目で、会員数45名の規模に発展しています。コンペ終了後のミーティング



第58回コンペ入賞のみなさん。左から2位・松本（邦）さん。中央が優勝の井上さん。右が3位の嵐さん。



写真上
同好会コンペ初参加の
勝山さん

写真下
同じく初参加の
喜田さん



で、皆さんのご意見を伺いながらこれからのコンペを、より楽しめるように、また励みともなるように次のとおり、運営要綱の見直しを行いました。

改定内容

- ◇コンペ入賞者のハンディキャップ改定基準
- ◇シルバートイ使用年齢条件設定
- ◇イベントの追加

*記念大会の設定

*グランドチャンピオン戦の設定

会員の参加意欲と、技量・体力などの向上との一体化した動機付けが目的です。

次回、第59回コンペは、4月14日（月）に平成15年度第1戦として白竜湖CCで開催します。

続く第2戦（第60回）は、記念大会とし5月19日（月）に安芸CCでの開催です。

また、第3戦（第61回）は、コンペ初コースの竹原CC（空港コース）で6月18日（水）に開催の予定です。

第58回コンペ		
3/19 賀茂CC		
順位	参加者	par
1	井上	- 4
2	松本（邦）	- 1
3	嵐	+ 4
4	山本（博）	+ 4
5	河上	+ 5
6	車角	+ 6
7	山本（昭）	+ 6
8	山内	+ 7
9	植木	+ 7
10	奥村	+ 7
11	山口（剛）	+ 8
12	徳永（文）	+ 9
13	川野	+ 9
14	喜田	+ 9
15	小林	+10
16	勝山	+10
17	出口	+11
18	明石	+11
19	稲場	+13
20	大和	+14
21	松本（全）	+15
22	津郷	+16
23	山口（春）	+19
24	山本（善）	+20
25	高見	+22
26	相馬	+24
27	佐々木	+26
ニッピン 山口（剛）		
嵐・植木・山内		

広島スポーツセンター からのお知らせ

スポーツセンター周辺地域でウォーキングを計画しています。ご家族お揃いでのご参加をお待ちしています。

日時 2003年5月11日（日）10:00～11:30

集合・解散 広島スポーツセンター

コース 八本松地域で設定 約6km

お問合せ TEL&FAX 0824-28-4281

E-mail umeda.masaaki@sharp.co.jp

春の旅行 ガイダンス

紅葉会企画
社友会合同行事

宮本武蔵のふるさとへ

とき 4月12日(土)

コース旅程

- ①集合 第3工場 am7:50
出発 8:00
- ② 西条 中央公民館 8:10

西条IC 経由 山陽自動車道
和気IC 経由 一般道
吉永町 特別史跡 閑谷学校
国宝及び重要文化財見学
国道374 経由 美作町
昼食 「西の屋」
一般道経由 大原町
『武蔵の里 五輪坊』ほか
一般道経由 美作町 「もうもう工房」
美作IC 経由 山陽自動車道 西条IC
西条・中央公民館 経由 第3工場
帰着 pm7:30 (予定)



五輪書 武蔵の人生訓や勝ち抜くための哲学などが書かれた五巻。

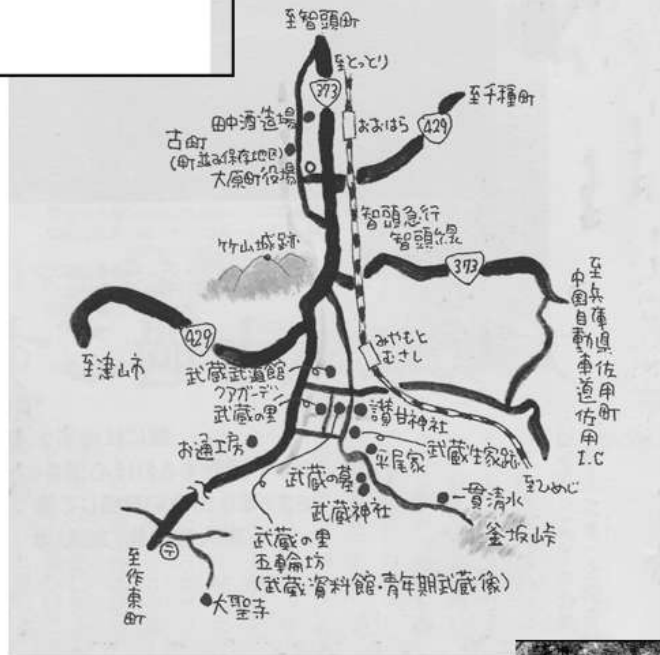
実在の人物には違いないがよくわからないのが、その生涯。吉川英治の「武蔵」があまりにも比重が大きく、あたかも作品自体が歴史と勘違いしそうな気がする。NHKのおかげで、話題の多いこの頃、我々も、その面影を感じる事ができるかも知れない、生誕の地を訪ねる旅に出かけよう。



武蔵生家跡 昭和17年の火災で屋根が瓦に。



一貫清水 武蔵が武者修業に立つさい竹馬の友と飲んだ...



武蔵真筆「達磨頂相図」
武蔵資料館展示



お土産は「もうもう工房」で

生産者組合直販システムで、美味しさをダイレクトにご家庭にと、美作「牛」がお勧め。宅配OK。持ち帰りパックもある。搾りたてのミルクだけで練った自慢のパンも、いいかも。岡山県特産品コーナーもある。

支部結成10周年特集

これからの10年を考える 二〇一三年に会員数五百名以上に

「これからの10年を考える」は、現行役員会で討議したものではありません。しいて申せば、「投稿」となりましょうか。当然、個人的見解とも云えるもので、的外れも含まれているとか、現実から外れているとか、そのようなご指摘が生ずることを承知で本文をまとめました。これからどうする、と会員諸兄のご意見を発露いただくためにも、ご一読をお願いする次第です。

まず、図1を見て頂こう。

二〇〇三年三月末の会員数は一三

五名。二〇〇名を越えるのが、二〇〇六年になる。二〇〇九年に三〇〇名、二〇一三年には、五〇〇名を超える会員数となる。

会員が増加すること自体、喜ばしい限りである。

図1

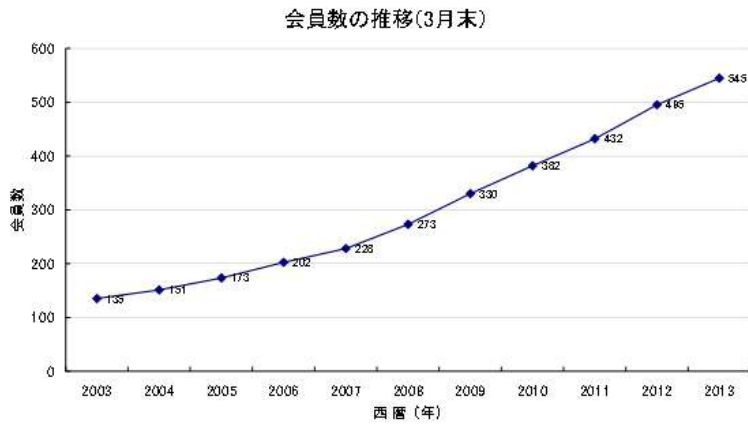
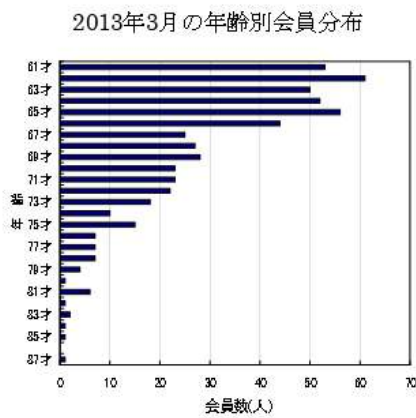


図2



しかしその反面、規模は異なるものの、現在の本部が抱える諸問題と同じ諸問題に、当広島支部でも直面することを推進したい。

未だ対応できる時間の余裕のある間に、予測される課題を解決していく努力を計画的に推進することが必要だろう。

同好会活動の活性化と多様化

図2を見て欲しい。

10年後には26年の年齢差に会員が分布する。世代差は歴然とするし、価値観も幅広く多様化するだろう。

会員ではあるが、社内報配布のみの会員に留まって欲しくない。社友会の活動には、全て不参加の会員を作ってはならない。

そのため施策として、共通の趣味を母体とする、同好会の活性化と多様化を推進したい。

- 新規活動同好会例
- 水彩・油彩・絵手紙など「絵画」関連同好会

- ペット関連同好会
- 例「ポチ・タマクラブ」

- 写真同好会
- デジタル写真同好会

- 旅行関連同好会

いまや昔と、かつて督促や確認に追われたことが、笑い話になる時がくるのだろうか。参加者の少なさによって、中止となった懇親旅行もあった。傾向として、参加率は減少の方向に動いている。このまま、会員数に関係無く参加人員は、固定的になってしまいうのだろうか。

事業と行事との関連

会員数と行事との関連で見ると、例えば総会。いつかの時点で会社外部に会場を設定しなければならぬ時期がくる。

費用の発生も問題だが、相応の会場が手配できるかどうか、不明だが必須事項として、意識しておかねばならない。

さらに、懇親旅行。

現在では、バス1台の催行人員をなんとかカバーしているが、複数台のバスが必要になる可能性がある。

その場合、過渡期として予算的に厳しい状況にさらされ、中止論議が発生しないようにしたい。

宿舍や食事の場所・施設の選択に苦慮する可能性もある。通り一遍の勧誘に留めることで、より参加者の増大を期待しない行事になることは避けるべきなのだが。

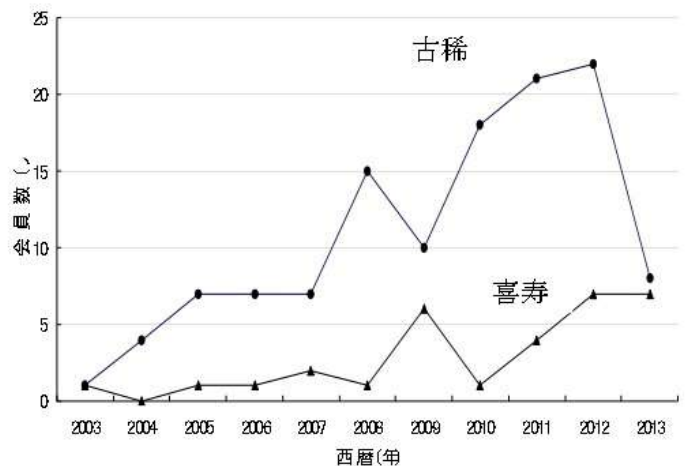
長寿のお祝い

これまでの10年で、会員自身の計報に接したのは4件に留まる。

加齢とともに、余命も減少する。避けられない宿命でもある。生有る限り、悔いのないように過せる環境が必要だが、社友会もその一環としての活動を続けたい。

今年度では、喜寿・古稀それぞれ1名づつ対象者があり、以降10年の該

図3



社友会室のサロン化

週3日の、日直が在室の場合には来室の方々との談笑の姿が見える。応接セットの拡充や、湯茶の準備など、会員が「たむろ」できる区画の準備をしたい。また、午後3時以降も滞在できる条件も考慮したい。

支部会報とホームページ

① 会員数が二〇〇名を越える、二〇〇六年から抜本的改革に取組み、順次展開する。

TVや新聞などの即時報導体制は望むべくもないが、タイミシングを失しない条件を維持したい。現在の季刊から、大幅な刷新を考える。

1 広島支部会報「ひびき」を月刊体制とする。

そのため、
① 広報担当幹事を四名とする。

② 編集に必要なパーソナルコンピュータを設置する。

なお、コンピュータはパソコン同好会と連携し、自作パソコンで対応する。

所要の予算化は、二〇〇五年度の事業とする。

2 会報「ひびき」第30号(04年4月)発行より、PDFデータとして公開する。

「PDFひびき」は、本部に要請し、本部ホームページ内に掲載。本部・支部を問わず、閲覧可能体制

を構築する。

なお、広島支部としての、ホームページ公開のときは、広島で対応する。

3 広島支部ホームページの公開は、会員数が三〇〇名を越える、二〇〇八年度に実施する。

必要な通信回線は、広島支部独自に契約し、直接に引き込みを行う。公開及び更新の体制として、幹事を含む数名を選定する。

社友短信

□山口春香さん

知る人ぞ知る『趣味』マニア(?)。社友会の全ての同好会に加入し、復活した囲碁・将棋同好会の推進リーダーを務める。

その春香さん、『書』に手を出しさらに『水墨』の世界にも足を踏み入れ、『水彩』をも手の中に収めようと目論んでいる。

加えて、これはもう病気だとの冷水にもめげず、『ちよつと変わった水墨画 春香一人展』なる個展を企画した。

ぜひ、会場を覗いて欲しい。
とき 4月8日(火)〜4月13日(日)

□木船久さん

3月下旬の、彼の日直当番日に、社友会室で久しぶりに会った。

曰く、昨年流行った「IT講習」をも受講せずパソコンを自習独習、試行錯誤。メールはやっていないが、ようやく、デジカメの写真画像をプリントアウトできるようになったそうだ。

操作の手際は、やや粗いが昭和5年10月生まれでとつくに、古稀は過ぎていく。それで、思い出した。今年の年賀状は、インクジェット用紙だった。

場所 午前9時〜午後6時
フジグラン駅前店5F
東広島市民ギャラリー

新入会員のご紹介

平成15年1月〜3月末受付

吉田 寛さん	No.2510	1月20日受付
田村 寿英さん	No.2525	1月20日受付
堤 幸治さん	No.2535	1月20日受付
東郷 靖彦さん	No.2539	1月23日受付
長谷 正勝さん	No.2554	2月12日受付
喜田 栄禧さん	No.2565	2月28日受付
佐藤 武文さん	No.2568	3月12日受付
猪飼 雅澄さん	No.2587	3月12日受付

広島支部所属会員数 135名
(平成15年3月31日現在)

お知らせ

石野 忠彦さん 4月1日付で広島支部に
会員異動。

編集後記

◇「イラク」と「SARM」に世の関心が集中した感の中で、本号を編集しています。

◇それにしても、「広陵」はやりましたね。学校が、現在地に移転する前の宇品・千田公園の隣りにあった(私が小学生の)頃、グラウンドによく、見に行ったものでした。

◇支部結成10周年特集ということで、少々風呂敷を広げすぎました。本号のテーマは、2013年の未来から、10年を回顧する、を企画していました。

◇語り口は、過去を表現するため断定する必要があり、不確定要素の固まりみたいな選択肢の多さに、勝手ながら方針を変更してしまいました。

◇そんなわけで、筆が滑った部分は少なくなりましたが、予測の分析には「漏れ」も多く物足りないものが残りました。

◇毎号お届けしている、同好会報告の「HOW DO YOU DO」は前号から3ページで構成していますが、今号でも全文掲載できず、部分的に割愛省略させていただきました。

◇まさに、春爛漫。紅葉会企画・社友会合同の「春の親睦旅行」。今年は、なぜか宮本武蔵。楽しみにしています。

(裕)